

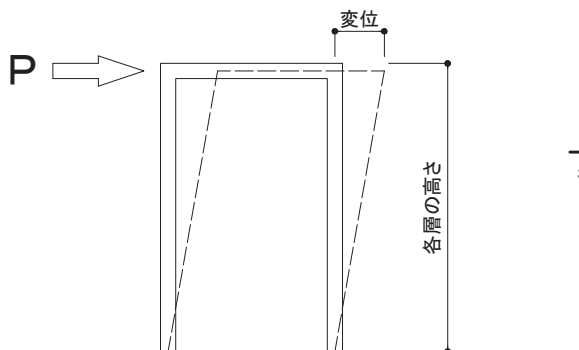
1 モエン標準施工法

1-14 胴縁下地組み(鉄骨下地組み)

耐火構造が求められる場合は、設計施工の仕様が異なります。別冊の専用カタログ「Commercial Wall」をご参照ください。

1) 基本事項

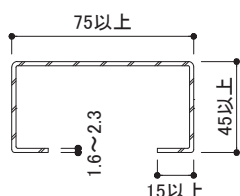
- 建物の層間変形角は1/120以下で設計してください。
- 通気留付金具(15mm浮き)を使用せず、モエンを直接鉄骨下地に留め付けることは禁止です。
通気留付金具(15mm浮き)を使用しない場合は、木胴縁を取り付けてモエンを施工してください。



$$\frac{\text{変位}}{\text{各層の高さ}} = \text{層間変形角 (単位: ラジアン)}$$

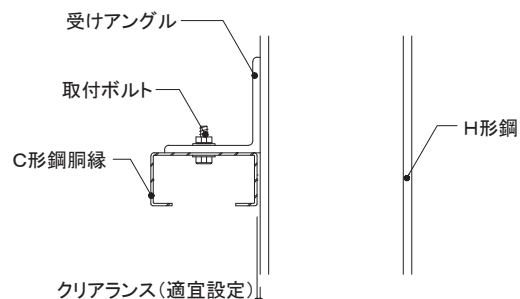
2) 鉄骨下地(C形鋼胴縁)の形状と寸法

- C形鋼胴縁の厚みは、1.6～2.3mmのものを使用します。(3.2mm厚以上になると、ビスの留め付けに手間がかかり、施工精度にも影響します。)
- 断面寸法は75mm×45mm×15mm以上を使用します。
- 防耐火構造大臣認定を用いる場合、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼胴縁の厚みは2.3mmとします。



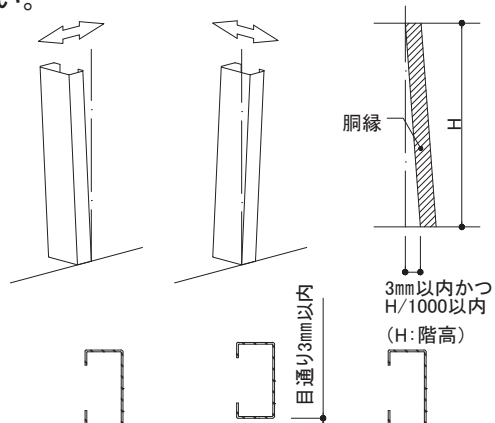
3) 下地組みの寸法と精度

- C形鋼胴縁は受けアングル(ねこ)を柱・梁に溶接し、受けアングルにボルト留めします。
(柱・梁に直接溶接することは避けてください。)



4) C形鋼胴縁の立ち・目通り

- C形鋼胴縁の立ちは3mm以内で、なおかつH/1000以内としてください。
- C形鋼胴縁の通りのズレは、3mm以内としてください。



5) 不陸限界

- 下地ジョイント部のズレと、溶接部のバリ、ビス頭などによる不陸は2mm以内としてください。

